



みやぎ MIYAGI 県老連 だより

公益財団法人 宮城県老人クラブ連合会

通 巻

109号

2019.8.30

令和元年度 東北ブロック老人クラブリーダー研修会(岩手県)



令和元年第1回女性委員会



高齢者相互支援事業連絡会議(14期第1回)



認知症サポーター養成講座(七ヶ浜町)

【内容】

東北ブロックリーダー研修会
事業報告(県内の出来事・全国の出来事)
これからの行事予定
蔵王町老連女性部(委員会)活動報告
大崎市老連女性部(委員会)の活動報告
一万人会員増強運動の実績

令和元年度

東北ブロック
老人クラブリーダー研修会

7月11日(木)から12日(金)に岩手県盛岡市つなぎ温泉の「ホテル紫苑」で令和元年度東北ブロック老人クラブリーダー研修会が開催されました。

本県からは、佐藤節夫会長をはじめ、34名が参加し、総参加者は主催県である岩手県の予想した350名をはるかに超える447名の方が参加されました。

今回のリーダー研修会は活力ある高齢社会づくりに向け老人クラブの状況を理解し、地域を担う老人クラブの役割を確認するとともに、老人クラブリーダーの資質の向上を図ることを目的として、東北各県と指定都市の老人クラブリーダーが集い開催されました。

開会式においては、全

老連の理事でもある松坂尚仙台市老連会長の挨拶の後、全老連河野敦子参事の「100万人会員増強運動を始めて！」と題した基調報告が行われました。

基調報告では「5か年の会員増強運動と今後の方向について」として、(1)老人クラブ100万人会員増強運動の総括と今後の方向、(2)運動総括、(3)老人クラブの仲間づくりで健康長寿を実現、の3分野での実績報告がありました。残念ながら、会員増を果たした都道府県老連はなく、全国すべての県で会員が減少する結果となりました。この結果を受けて、参加したリーダーの皆さんは、これからの会員増強に向けて決意を新たにしていました。

引き続きグループ討議が行われ、全体が56に分かれ「会員増強運動の教訓から学んだこと」「今後の取り組み」「超高齢社会における老人クラブの取り組み」の3テーマについて討議を行い、各グループにおいて意見交換や情報交換を行いました。

二日目は宮城県・岩手県・福島県の3県の代表者から活動事例の発表が行われました。

宮城県からは県老連の副会長・女性委員長である佐藤純子さんが、自らが会長を務める「初原老人クラブ長生会」の活動について発表しました。

引き続き岩手県立大学社会福祉学部の小川晃子教授より「これからの地域見守りー機械ではなく機会をうまく使おう！」と題する講話がありました。

高齢者の増加に伴い單身高齢者や高齢夫婦のみの世帯が増加し、そうした方々への見守りの仕組みや、AI(人工知能)

を使った機械の紹介などが行われました。「高齢者が住み慣れた地域で最後まで暮らし続けることが出来る様に、見守る側と見守られる側の双方に負担とならないシステムの構築が必要」との提言に参加者からうなずきの声が聞かれました。

来年度は、仙台市老連が主催し、仙台市秋保温泉で開催することになりました。仙台市老連会長から来年も是非元氣な姿で参加されることをお待ちしますとの挨拶がありました。

皆様、是非ご参加ください。



◎【役員名簿】(敬称略)

任期…

令和2年度

定時評議員会終結の時まで

《会長》

佐藤節夫(大崎)

《副会長》

大山金雄(東松島)

佐藤良一(沿岸)

佐藤純子(女性委員会)

《理事》

小松洋吉

(東北福祉大学)

梶村和秀(新任)

(県長寿社会政策課)

佐藤光敏

(県社会福祉協議会)

相澤政助(石巻)

中村邦綱(塩釜)(新任)

畠山多喜夫(気仙沼)

吉野照子(白石)

田端幸男(名取)

伊藤三壽(角田)

阿部五一(多賀城)

渡邊榮一(岩沼)

及川 潔(登米)

菅原武義(栗原)

藤島史男(富谷)

星 次雄(県南)

令和元年度全老連評議員会に参加して



宮城県老連会長

佐藤 節夫

新天皇が誕生し、年号が平成から令和に変わりましたが、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。当連合会では、お陰様で役員、事務局職員ともども元気で活動しています。他事ながらご休んでください。

さて、去る6月18日、令和元年度第1回公益財団法人全国老人クラブ連合会定時評議員会に出席いたしたため、報告がたがた全老連についてお知らせしたいと思っています。

加盟団体は、全国47都道府県と15指定都市老人クラブ連合会で構成し、平成30年度98,592クラブ、会員数5,488,258人となっております。役員は、会長、副会長6人（うち1人は女性委員長）、常務理事1人、理事22人（会長、副会長、常務理事は理

事定数に含まれます）、評議員56人、監事3人からなり、事務局長をはじめ職員4人で事務局があります。定時評議員会は、東京都千代田区全社協「第3・5会議室」（新霞が関ビル）で開かれました。私は大崎在住ですから古川駅から新幹線に乗り上野駅で下車し、地下鉄銀座線に乗り換え虎の門駅で下車、徒歩で霞が関ビルの脇を通り会場に到着します。

会議は、午後1時30分開会、会長挨拶、来賓挨拶（厚生労働省老健局振興課）、審議事項は第1号議案「平成30年度事業報告について」、第2号議案「平成30年度決算について」、第3号議案「評議員の補充選任について（当会佐藤純子副会長が評議員就任）」、第4号議案「理事の補充選任について」の4

件でしたが、全て提案のとおり可決されました。平成30年度の決算額は、1億3千464万円でありました。今季限りで退任した斎藤十朗氏は、重厚で頼りがいのある兄貴分のように感じられました。また、後任の清家篤会長は1954年生（65歳）で、第18代慶應義塾塾長を歴任され、政府委員を数多く経験されており、学者で労働経済学が専門なそうです。挨拶はさわやかで、深淵と

会員の減少傾向は全国的で平成26年～29年の4年間、平成25年を100とした場合の会員数は、横浜市95・1%、一番減ったところは新潟県で71・4%、宮城県は82・4%でありました。

今年は、会員皆様の豊かな経験と英知をお借りしながら、仲間づくりをより積極的に推進し、会員の減少傾向から増加傾向に切り替えたいと考えます。今後ともご理解お力添いをお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健康ご多幸を心から祈念申し上げます。

村田直喜（中央）
橋本一意（県北）
佐藤貞子（女性委員会）
高橋ちた江（女性委員会）
《常務理事》
千葉義明（県老連）

《監事》

佐藤勝雄（県南）
中村英司（中央）（新任）
鈴木輝雄（県北・沿岸）

◎【評議員名簿】

（敬称略）

任期…

令和4年度
定時評議員会終結の時まで

星 一美（石巻）
太田道明（塩釜）（新任）
小野寺優一（気仙沼）
山田 功（白石）
本郷 一浩（名取）
安住芳夫（角田）（新任）
千葉 正實（多賀城）
三品 實（岩沼）
飯田 功（登米）
圓谷 晃一（栗原）
内海 國雄（東松島）
笠原 吉信（大崎）
塩田 智明（富谷）
佐藤 正隆（蔵王）
小林喜一郎（七ヶ宿）（新任）

船山今朝男（大河原）（新任）

真壁 虎雄（村田）

島貫 孝雄（柴田）

古郡 金蔵（川崎）

早坂 修（丸森）

佐藤 孝吉（亘理）

西澤 英清（山元）

大友 昌（松島）

顧 治夫（七ヶ浜）

阿部 次雄（利府）

菅原 正郎（太和）

田中 實（大郷）

日野 政二（大衡）

伊藤 剛（色麻）

高橋 良一（加美）

小野 秀一（涌谷）

松田正敏（美里）（新任）

武内 武司（女川）

西條 敬一（南三陸）

平塚 勝徳（新任）

（県長寿社会政策課）

鷺 伸晃（新任）

（県社会福祉協議会）

菅原 邦子（女性委員会）

高橋よし子（女性委員会）

・役員の任期は令和2年度の定時評議員会集結の日まで。
・評議員の任期は令和4年度の定時評議員会集結の日までです。

事業報告

《県内のできごと》

理事会・評議員会等の開催状況

- (平成30年度) 第14回理事会
・日時：平成31年3月1日(金)
・協議事項
- 1 平成31年度分担金に
ついて【承認】
 - 2 平成30年度補正予算に
ついて【承認】
 - 3 平成31年度事業計画並びに
収支予算について【承認】
 - 4 会員1万人増強運動について
収益事業(ソーマン販売)
について【承認】
 - 5 役員等表彰規程について
(平成30年度) 第10回評議員会
・日時：平成31年3月18日(月)
・協議事項
 - 1 平成31年度分担金に
ついて【承認】
 - 2 平成30年度補正予算に
ついて【承認】
 - 3 平成31年度事業計画
並びに収支予算について【承認】
 - 4 会員1万人増強運動について
(平成30年度) 監事会
- 平成30年度事業報告並びに
収支決算・経理執行状況
(令和元年度) 第15回理事会
・日時：令和元年5月27日(月)
・協議事項
- 1 宮城県老連役員並びに
評議員の選任について【承認】
- 2 平成30年度事業報告並
びに収支決算について【承認】
 - 3 1億円基金と災害救援
拠金の状況について【承認】
 - 4 総務部会の協議事項に
ついて(事務事業見直し)【承認】
- (令和元年度) 第11回評議員会
・日時：令和元年6月14日(金)
・協議事項
- 1 宮城県老連役員並びに
評議員の選任について【承認】
 - 2 平成30年度事業報告並び
に収支決算について【承認】
 - 3 1億円基金と災害救援
拠金の状況について【承認】
 - 4 総務部会の協議事項に
ついて(事務事業見直し)【承認】
- (平成30年度) 市町村老連会長・
事務担当者会議
・日時：平成31年3月22日(金)
・報告事項
- 1 平成31年度県老連事業
計画並びに収支予算
 - 2 会員1万人増強運動の実
績、これからの会員増強運動
 - 3 第14期高齢者相互支援推
進啓発事業のモデル老連について
 - 4 女性委員会実施の演芸
大会について

令和元年度第1回女性委員会の開催

平成31年4月25日(木)

午後1時30分からホテル
白萩2階けやきの間に於
いて、第1回女性委員会
が開催されました。

出席者は女性委員27名、
会長及び事務局2名の30
名でした。

主な内容は、次のとお
りです。

【協議事項】

(1)「演芸大会」について

令和元年9月19日(木)、
登米市迫町「登米祝祭劇
場」に於いて、参加人数
600名程度を目標とし、
出演者約20グループを見
込むこと等が話し合わせ
ました。

(2)会員勧誘活動について

会員勧誘活のチラシを
作成し、女性委員を通し
て各市町村老連で配布し
て勧誘の声掛けを展開す
ることとし、今年度のモ
ニター活動のテーマとし

て「会員勧誘活動」に1
年間取り組むことになり
ました。

(3)女性委員会からの「県
老連だより」への寄稿に
ついて

女性部で独自の活動を行
っている市町村の様々
な取り組みを広く紹介す
るために、今年度も寄稿
を呼びかけました。

【報告事項】

(1)平成31年度「女性委員会
の事業方針(目標)」と事業
計画・運営について

(2)各老連「広報誌の交換
について

(3)その他

全老連女性委員会委員
に北海道・東北ブロック
の代表として、宮城県の
佐藤純子委員長が平成31
年4月11日に開催された
ブロックの会長・事務局
長会議において選任され
ました。

生き生き
シニア活動表彰で
県内3つの団体が
表彰されました

令和元年7月10日(水)

に県庁庁議室で、令和元年度
日本生命財団の「児童・少年
の健全育成女性」、「生き生き
シニア活動顕彰」贈呈式が執
り行われました。

県老連関係では、次の3団
体が活動顕彰を受けました。

・登米町老人クラブ連合会
(登米市) 活動内容：登下
校時の見守り活動

・草木新和会(栗原市)
活動内容：訪問ボランティア
・港町長寿会(亘理町)
活動内容：高齢者の居場所
づくり



第14期高齢者相互支援推進啓発事業が始まりました。

第1回関係者連絡会議の開催

令和元年5月31日(金)
ホテル白萩においてモデル指定4老連(1老連欠席)の関係者連絡会議が開催されました。

佐藤節夫県老連会長の挨拶に続き、次の事項について熱心な会議が行われました。

- (1) 事業の概要及び業務内容について
- ① 実施要項② 業務内容
- ③ 友愛訪問活動の手引き
- ④ 経費使途についての留意点



(2) 今後の日程について

- ① 令和元年度・2年度
のスケジュール② 全老連
主催「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」への派遣について

(3) 事業実施に当たっての意見・情報交換について

会議に参加した4老連の関係者からは、各浜ごとにシルバリーリーダーを委任するため、20名ではなく30数名となることや、研修会事業を実施する場合の経費について質問が出されました。

県老連からは、社協のプリンタートナーを購入する場合の留意点や、通信用切手を購入する場合、使途の整理を確実にを行うことなどを話しました。

第14期は5老連がモデル老連として応募されました。

したが、これまでモデル老連として指定を受けたことのない老連も積極的に応募しては、との意見が出されました。

高齢者が安心・安全に暮らすためには、地域内での高齢者の相互支援が重要です。このような地域を作り上げるため老連として行動を起こすことが求められております。

第14期モデル指定老連

- ① 蔵王町 ② 松島町
- ③ 七ヶ浜町 ④ 色麻町
- ⑤ 女川町



認知症サポーター養成講座の開催

毎年開催してまいりました認知症サポーター養成講座も今年で15年目となりました。

さて、6月25日(火)に今年度第1回目の認知症サポーター養成講座が七ヶ浜町花浜地区避難所を会場に、グループホーム「七ヶ浜桜の家」管理者赤間とわ子氏を講師に迎えて開催されました。深刻になりがちな問題を明るく雰囲気が進められ、約60名の参加者に好評を得られました。

また、7月23日(火)には色麻町保健福祉センターにおいて、加美老人保健施設主任介護福祉士の紺野秀氏から、認知症の基礎知識や適切な対応の仕方などを学びました。

正しい知識を学ぶことで、認知症サポーターとして認知症の方やその家族のよき理解者となり、支えることができます。

老人クラブの会員のみ

なさまにも、ぜひ認知症サポーターとして、今後ともご協力をお願いしたいと思います。

令和元年度認知症

サポーター養成講座日程

○七ヶ浜町老連

6月25日(火)七ヶ浜町花浜地区避難所「浄室」(公民館分館)

○色麻町老連

7月23日(火)色麻町保健福祉センター「健康増進室」

○大河原町老連

7月29日(月)大河原町世代交流いきいきプラザ「会議室1・2」

○登米市老連

8月5日(月)登米市南方農村環境改善センター

○南三陸町老連

8月8日(木)総合ケアセンター南三陸「大会議室」

※今年度の認知症サポーター養成講座は、11月以降開催の募集も受付けております。

収 入	28,187,002	(単位：円)
・補助金収入	13,061,000	
・共同募金会配分金収入	500,000	
・会費収入	4,842,840	
・寄付金収入	0	
・災害拠金振替	1,300,000	
・事業収入	70,000	
・諸収入	303,152	
・基金繰入	6,000,000	
・繰越金	2,110,010	
支 出	27,263,680	(単位：円)
○事業費	21,441,623	
・スポーツ大会	429,045	
・健康づくり研修費	1,518,000	
・高齢者相互支援推進啓発事業費	1,496,000	
・認知症講座費	166,445	
・給与・福利厚生費	12,782,000	
・市町村老連推進助成費	1,600,000	
・研修研究費	41,730	
・女性リーダーセミナー費等	687,478	
・若手リーダー研修費	55,495	
・老人クラブ大会費	609,152	
・広報費	1,225,130	
・調査研究費	27,992	
・全国会議費	803,156	
○管理費	5,822,057	
・給与・福利厚生費等	2,808,006	
・旅費	321,221	
・役務費	826,820	
・賃借料	467,530	
・支払負担金	594,000	
・雑費・その他	804,480	

平成30年度 収支決算

収 入	32,105	(単位：千円)
・補助金収入	12,973	
・会費収入	4,842	
・寄付金収入	1	
・災害拠金振替	5,075	
・事業収入	570	
・諸収入	230	
・基金繰入	8,414	
支 出	32,105	(単位：千円)
○事業費	25,834	
・スポーツ大会	580	
・健康づくり研修費	1,396	
・高齢者相互支援推進啓発事業費	1,476	
・認知症講座費	168	
・給与・福利厚生費	12,788	
・市町村老連推進助成費	1,600	
・研修研究費	76	
・女性リーダーセミナー費等	1,063	
・若手リーダー研修費	37	
・老人クラブ大会費	860	
・広報費	1,300	
・調査研究費	50	
・全国会議費	665	
・災害支援費	3,775	
○管理費	6,271	
・給与・福利厚生費等	2,619	
・旅費	490	
・役務費	942	
・賃借料	522	
・支払負担金	580	
・雑費・その他	1,118	

令和元年度 収支予算

第一・一回総務委員会の協議結果について

平成30年11月2日及び平成31年1月22日に開催された県老連総務部会においては、専ら役員及び評議員の選出方法について協議が行われ、その結果を第14回理事会（H31・3・1）で答申しましたので、その内容をご報告します。

○現行の選出方法は、理事は各市老連から1名、町村を4ブロックに分け、各ブロックから1名とし、合計17名の理事が選出されている。評議員は各市町村老連から選出され、合計34名となっている。

○総務部会答申として、県域を市町村に関わらず9ブロックに区分けする。

○理事については各ブ

ロックから1名選出する。

○評議員については、各ブロックから2名選出するが、大崎・栗原・登米・気仙沼ブロックからは1名の選出とする。

○監事については、県南ブロック群、県中央ブロック群、県北ブロック群から各1名選出する。

○以上のブロック割による選出により、理事（地域選出理事）はこれまで



の17名から9名、各市町村選出評議員は34名から14名の選出となる。

答申内容は9月に開催される第16回理事会において協議されることになっています。

【9ブロック】

【県南】白石市・角田市・蔵王町・七ヶ宿町・大河原町・丸森町・山元町

【仙台南部】名取市・岩沼市・村田町・亘理町・川崎町・柴田町

【県中央】多賀城市・塩釜市・富谷市・利府町・大郷町・七ヶ浜町

【仙台北部】加美町・色麻町・大和町・大衡村

【大崎】大崎市・涌谷町【石巻】石巻市・東松島市・松島町・女川町

【栗原】栗原市・美里町

【登米】登米市

【気仙沼】気仙沼市・南

三陸町

これからの行事予定

【研修会・セミナーなど】

事業名	日 時	場 所	その他
認知症サポーター養成講座	8月5日 10:00～	登米市南方公民館	
	8月8日 13:30～	総合ケアセンター南三陸	
健康づくり研修会	8月20日 10:30～	総合ケアセンター南三陸	
	8月22日 10:30～	女川町総合体育館	
	8月23日 10:30～	岩沼市総合体育館	
	8月27日 10:30～	栗原市一迫活性化センター	
	8月28日 10:30～	富谷市東向陽台公民館	
	8月30日 10:30～	登米市迫公民館	
	9月6日 10:30～	大崎市古川武道館	
シルバーリーダー研修会	12月11日 13:30～	ホテル白萩	
高齢者の健康づくり 生活支援セミナー	12月12日～13日	東京都	全老連事業

【大会】

事業名	日 時	場 所	その他
演芸大会	9月19日	登米市祝祭劇場	
シニアスポーツ大会	10月9日	鷹来の森運動公園(東松島市)	
老人クラブ大会	11月14日	登米市祝祭劇場	
全国老人クラブ大会	11月26日～27日	埼玉県	全老連事業

【会議等】

事業名	日 時	場 所	その他
第16回理事会	9月13日 13:00～	ホテル白萩(仙台)	
第2回女性委員会	1月17日 13:30～	ホテル白萩(仙台)	
高齢者相互支援事業連絡 会議(14期第2回)	1月24日 13:30～	ホテル白萩(仙台)	14期
第17回理事会	3月4日 13:00～	ホテル白萩(仙台)	
第12回評議員会	3月19日 13:00～	ホテル白萩(仙台)	
市町村老連会長・事務担当 者合同会議	3月25日 13:30～	ホテル白萩(仙台)	

市町村老連女性部(委員会)の活動紹介

各市町村老連の女性部(委員会)では、様々な活動を行っております。

【世界の病気の子供達を救おう・エコキャップ集め】

大崎市西古川地区老人クラブ連合会重点取り組み活動

大崎市西古川地区老連会長 高橋ちた江

私共、西古川地区老連では地域活動として「エコキャップ集め活動」を平成26年度から取り組みを開始しました。

エコキャップ集めとは、内閣府認証NPO法人リサイクルエコキャップ推進協会の掲げる「地球に愛を子どもに愛を ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届けよう!」という、ペットボトルのキャップで世界の子供たちにワクチンを届ける活動です。

この活動の情報は平成25年1月の新聞記事でした。登米市石森小学校の生徒会活動が紹介されておりました。紙面ではリーダーの男子児童のコメントも紹介されており、全校全学年・各家庭での取り組みとしましたが、目標には届いていないとのことでした。

私共は早速に話し合いを行い西古川地区老連重点取り組み活動として協力する事に決定しました。

早速学校に連絡をし活動の協力を申し入れました。学校側からは活動の中心である六年男子児童の皆さん、担任の先生、そして何よりも校長先生より快諾を頂き、感謝の手紙も頂きました。

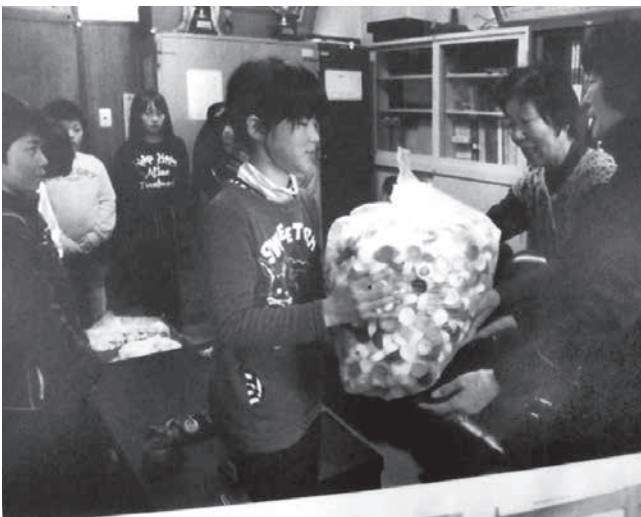
平成29年度には大崎市川渡小学校での生徒会活動にも協力する事ができました。川渡小学校生徒会にはエコキャップを持参し、校長先生、各先生方のお許しを頂き生徒会の皆さんとの交流会もでき、代表3名から感謝の作文も頂きました。

私共の活動の拠点として西古川地区公民館玄関口にエコキャップの回収ボックスを設置して頂き、大変大きな協力を得ました。

地域の皆様方にも大変ご協力を頂きました。私共西古川地区老連としても大きな活動でした。

お陰様で私共の活動期間中にワクチン約100人分協力できました。

(参考：ワクチン一人分／エコキャップ800個必要です。)



市町村老連女性部（委員会）の活動紹介2

単位老人クラブの さわやかな 風になる

蔵王町老連女性部長 佐藤貞子

父母の時代から活動の輪が広がってきたこの老人クラブ、代々引き継がれて……今は高齢化社会を迎え、世の中全体から最も重要視される存在となりました。

住み慣れた地域で自分らしく、最後まで元気で暮らせるようにと、町や県そして全国で、さまざまな支援事業が展開されております。

蔵王町老連としてのリーダー研修は多々ありましたが、しかし、それを生かすのは、地元である単位クラブなのです。一人でも多くの方々に入会して頂けるクラブ作りが一番大事だと思います。私の在籍している単位老人クラブでは百人近い会員を有し、その内男性が三分の一、女性が三分の二の比率でした。そんな折、単老の副会長に選任された私は、女性部会を結成する事から始める事にしたのです。道なき道でもありました。まず最初に組織を作る事から始め10人の班長〈10班〉の協力の元、会員一人でも漏れなく連絡が取れるようにそのつど案内状も作りしました。200円の会費で地区公民館に集まり所要時間3時間、体操から始まり各分野の講師を招きオレオレ詐欺の寸劇や認知症予防の寸劇、健康講座や栄養学まで、また部落で活動している民生委員や人権擁護委員の活動の様子など。その他に発声練習や、お茶呑み会で楽しい時間を過ごします。毎回参加者は四十人前後となり、好評となりました。今年で6年目となりますが初めて2年目ころから、単老会計より予算を付けて頂くまでとなりました。また共同募金会より地域援護金事業の配分金の助成も頂き活動がさらにやりやすくなったのです。



蔵王町老連では県より第13期のモデル指定を受けて友愛活動を実施しましたが、もちろん、私の住む宮長寿会も6人のシルバーリーダーの協力の元2年間の活動を終えた今、更に14期の継続を願っております。この友愛の精神は皆に浸透して広めていかなければと思って居ります。そして向こう三軒両隣の声かけが一番なのです。

今年の、単老の総会に於いて会長を任命され受けることになった私にできることは何か、模索が続く日々、長年男性により作り上げられて来たこのすばらしい社会、今まで蔵王町に一人もいなかった女性リーダーの存在。グラウンドゴルフや、ゲートボールもできない私が、やっぱり女性では、ダ。メ。と耳元から聞こえてくるようで、時々自信がなくなるのです。でも、私の周りには支えてくれる若い人たちがいっぱいいます。私にできることはただ一つ、さわやかな風になる事だ、と思うようになりました。私の願いは、気が付いたことがあれば、自分の言葉でどん



どん発言してくれるような、雰囲気作りをして行くことなのです。その中から、みんなにふさわしい事業を取り入れ、一人でも多くの人に参加して頂けるように、さわやかで、やさしい風になりたいと、考えております。そして、できたら、広く蔵王町の隅々まで、吹き続けられたらと、願って居るところです。

会員一万人増強運動の実績 平成30年度

会員 1 万人増強運動は全老連が平成 26 年度から運動を開始した「100 万人会員増強運動」を受け、宮城県での会員増加目標を 1 万人と設定し、事業を開始しました。

最終年度の平成 30 年度の実績としましては、

○ 会員数が増加した
既設クラブ

クラブ数 9 クラブ
増加者数 64 人

○ 新設されたクラブ
クラブ数 4 クラブ

会員数 148 人
新設クラブへの

貢献老連
3 老連

会員の増加数は 212 人となっておりですが、平成 29 年度末の県全体の会員数と平成 30 年度末

を比較しますと、下記の表のとおり、会員数が 1,554 人の減となっております、会員減少に歯止めが利かない状況です。

皆様の老人クラブや老連で会員増強につながった取り組みや、新たな会員増強運動に繋がる活動がございましたら、是非県老連までお知らせください。

なお、「会員一万人増強運動」は平成 30 年度で終了し、令和元年度からは新設クラブの設立促進に向けて新たな奨励金制度である「会員増強運動」を実施中です。積極的な活用をお願いします。

※増加した会員数やクラブ数は、奨励金の申請があつた件数を集計したもので、実際の増減ではありません。

平成25年度末から平成30年度末までの会員数の推移

(県老連現況調査による)

年度区分 市町村名	H25年度末 H26.3.31	対前年 増減数	H26年度末 H27.3.31	対前年 増減数	H27年度末 H28.3.31	対前年 増減数	H28年度末 H29.3.31	対前年 増減数	H29年度末 H30.3.31	対前年 増減数	H30年度末 H31.3.31	対前年 増減数
石巻市	3,408	-499	3,393	-15	3,222	-171	3,104	-118	2,785	-319	2,424	-361
塩釜市	1,116	-64	1,019	-97	1,003	-16	961	-42	953	-8	813	-140
気仙沼市	1,104	-90	1,000	-104	896	-104	896	0	919	23	896	-23
本吉町	732	31	679	-53	663	-16	616	-47	459	-157	449	-10
白石市	1,448	-54	1,615	167	1,433	-182	1,412	-21	1,349	-63	1,319	-30
名取市	1,426	-100	1,329	-97	1,189	-140	1,183	-6	1,070	-113	1,021	-49
角田市	1,660	-214	1,506	-154	1,485	-21	1,452	-33	1,326	-126	1,209	-117
多賀城市	1,034	-42	991	-43	962	-29	923	-39	841	-82	781	-60
岩沼市	1,045	-106	1,023	-22	961	-62	878	-83	752	-126	718	-34
登米市	6,942	-181	6,500	-442	6,160	-340	6,124	-36	5,869	-255	5,823	-46
栗原市	5,097	-247	4,958	-139	4,682	-276	4,343	-339	4,031	-312	3,944	-87
東松島市	1,229	10	1,180	-49	1,142	-38	1,061	-81	1,009	-52	1,019	10
大崎市	3,994	-582	3,842	-152	3,679	-163	3,382	-297	2,970	-412	3,016	46
富谷市	858	10	850	-8	848	-2	800	-48	751	-49	751	0
小計	31,093	-2,128	29,885	-1,208	28,325	-1,560	27,135	-1,190	25,084	-2,051	24,183	-901
蔵王町	842	-39	761	-81	676	-85	641	-35	625	-16	596	-29
七ヶ宿町	143	3	127	-16	153	26	148	-5	137	-11	123	-14
大河原町	682	-32	648	-34	632	-16	583	-49	570	-13	495	-75
村田町	474	-22	426	-48	384	-42	379	-5	373	-6	338	-35
柴田町	760	-29	721	-39	672	-49	660	-12	648	-12	554	-94
川崎町	543	10	562	19	539	-23	489	-50	482	-7	474	-8
丸森町	604	-52	496	-108	451	-45	336	-115	316	-20	286	-30
小計	4,048	-161	3,741	-307	3,507	-234	3,236	-271	3,151	-85	2,866	-285
亘理町	1,638	129	1,400	-238	1,403	3	1,368	-35	1,280	-88	1,231	-49
山元町	196	-7	199	3	199	0	168	-31	168	0	160	-8
松島町	765	-7	755	-10	722	-33	733	11	719	-14	661	-58
七ヶ浜町	633	-11	596	-37	591	-5	574	-17	570	-4	574	4
利府町	967	-17	990	23	970	-20	959	-11	916	-43	901	-15
大和町	2,211	-79	2,304	93	2,241	-63	2,241	0	2,152	-89	2,093	-59
大郷町	592	-27	577	-15	548	-29	510	-38	478	-32	461	-17
大衡村	477	9	441	-36	458	17	443	-15	419	-24	359	-60
小計	7,479	-10	7,262	-217	7,132	-130	6,996	-136	6,702	-294	6,440	-262
色麻町	377	-35	379	2	336	-43	325	-11	320	-5	313	-7
加美町	2,278	-74	2,199	-79	2,197	-2	2,108	-89	2,026	-82	2,026	0
涌谷町	1,284	-6	1,282	-2	1,244	-38	1,228	-16	1,209	-19	1,194	-15
美里町	872	-10	847	-25	825	-22	825	0	792	-33	705	-87
女川町	238	0	238	0	269	31	309	40	420	111	431	11
南三陸町	722	54	709	-13	693	-16	671	-22	653	-18	645	-8
小計	5,771	-71	5,654	-117	5,564	-90	5,466	-98	5,420	-46	5,314	-106
合計	48,391	-2,370	46,542	-1,849	44,528	-2,014	42,833	-1,695	40,357	-2,476	38,803	-1,554

老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

2019年10月改定

傷 害 保 険 〈掛金・補償内容〉

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

① 対 象：老人クラブ会員に限ります。1人1口加入で年齢制限はありません。

加入手続きは所属の老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体保険です。

② 保険加入月
および保険期間

保険加入月(年2回のみ)	保険期間	申込及び掛金払込期間
2019年10月加入の場合	2019年10月1日午後4時から1年間	2019年7月1日～9月15日まで
2020年4月加入の場合	2020年4月1日午後4時から1年間	2020年1月1日～3月15日まで

③ 掛金払込の条件：申込みの人数に関わらず1回の払込につき掛金総額3,000円以上(追加の場合も同様)

※払込手数料は申込者負担

④ 補償範囲・掛金タイプ：「24時間型：4タイプ」・「活動型：2タイプ」の6タイプから1人1つ選択してください。

複数口加入はできません。

〔補償額〕上段：活動中のケガの補償額

下段：(活動中以外)のケガの補償額

⑤ 掛金・補償内容

タイプ 補償内容	年間 掛金	24時間型				活 動 型	
		クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。				クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)のケガを補償します。	
		12,000円	8,000円	5,000円	3,500円	1,000円	500円
死亡保険金		344万円 (174万円)	217万円 (132万円)	210万円 (125万円)	137万円 (92万円)	85万円 (一)	45万円 (一)
後遺障害保険金(注2)		170万円 (一)	85万円 (一)	85万円 (一)	45万円 (一)	85万円 (一)	45万円 (一)
入院保険金日額(注3) 1事故につき30日限度		6,400円 (2,400円)	3,450円 (1,450円)	3,250円 (1,250円)	1,950円 (950円)	2,000円 (一)	1,000円 (一)
通院保険金日額 1事故につき30日限度		4,100円 (1,500円)	2,250円 (950円)	2,100円 (800円)	1,250円 (600円)	1,300円 (一)	650円 (一)

新	個人賠償責任補償 (自転車事故も含む)	1億円 (老人クラブ会員の同居の親族を含む)
新	地震・噴火・津波 危険補償(※1)	〇 (死亡・入院・通院)
新	熱中症 危険補償(※2)	〇 (死亡・入院・通院)

〔クラブ活動中とは〕

①「所属する単位クラブが予め計画・実施する活動」および②「市区町村(地区・校区)から全国までの各連合会が主催する活動イベント」ならびに③「老人クラブ関係者として他団体の活動」への参加・往復途上を含みます。
事故証明者：単位クラブ関係者、参加した主催者連関係者

〔ご注意〕「24時間型」については、職種別A(無職・事務職(ケガリスクの低い職業)等)の場合の保険金額となります。
職種別B(ケガリスクの高い職業)については、下記をご参照ください。
〔「活動型」に職種別はありませぬ。〕

●職種別Bに該当する主な職種

- ・「自動車運転者」、「建設作業」、「農林業作業」、「漁業作業」、「採鉱・採石作業」、「木・竹・草・つる製品製造業者」(以上6職種)
- ・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
- ・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問合せください。

(注1)往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、クラブ活動場所までの通常経路を指します。

(注2)後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の後遺障害保険金の4%～100%が支払われます。

(注3)手術保険金として、入院中は入院保険金日額の10倍、外来(入院中以外)は5倍がお支払対象となります。

賠 償 責 任 保 険 〈掛金・補償内容〉

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

① 対 象：老人クラブ(全員加入が条件となります)

② 保険期間：毎年10月から1年間

③ 掛 金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)

④ 補 償：支払限度額1億円



公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 ミクスビル1階102号

受付時間 9:30から17:00まで(土、日、祝祭日、年末年始除く)

加入申込書等
資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ
ご相談

先 03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> (老人クラブ傷害保険) 検索

メールアドレス hoken@senior-ltd.com

〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社(担当課)医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

※この広告とは、以下の商品についてご紹介したものです。

「老人クラブ傷害保険」

■活動型：老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険

■24時間型：総合生活保険(傷害補償)

「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」

ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

19-T00792 2019年5月作成 6

爽やかな高原リゾートで
ご家族様やお友達と湯つくり楽しみませんか!
とってもお得なプランで皆様をお待ちしております。



※写真はイメージです

天然温泉ひのきの湯



スタンダードツインルーム



生き生きゆったりプラン

料金(消費税(8%)込・入湯税150円別)

2～3名様1室ご利用の場合

平日 10,800円 休前日 12,960円

10名以上でご利用の場合

平日 9,720円 休前日 11,880円

◎夕食は和風会席料理

◎デラックスルームは2,160円追加

※紅葉シーズン期間は上記料金に3,240円加算となります。

※10月から消費税率は10%になります。

※送迎バスご利用の際には別途ご相談ください。

鳴子温泉リゾート

ホテル オニコウベ

《政府登録国際観光ホテル》

〒989-6941 宮城県大崎市鳴子温泉鬼首字大清水26-29

ご予約お問合せ TEL.0229-86-2011

http://www.oni3800.com FAX.0229-86-2029



無料シャトルバス(事前予約制)

運行期間:2019年4月13日～2019年11月30日まで

迎え	シャトルバス			
	便名	仙台駅発	古川駅発	ホテル着
	①	13:50	15:10	16:10
送り	シャトルバス			
	便名	ホテル発	古川駅発	仙台駅着
	②	09:30	10:40	12:00

※完全予約制となっておりますので、ご利用の方は必ず出発の3日前までにご連絡をお願い致します。

※ダイヤは改正等により変更となることがあります。